

## 窓口支援事例 【千葉県 知財総合支援窓口】 平成 29 年度版

### 企業情報

株式会社 M・Strada

所在地	千葉県鎌ヶ谷市		
ホームページ URL	http://www.emusuto.co.jp		
設立年	2012 年	業 種	建設業
従業員数	24 人	資本金	500 万円

### 企業概要

当社は、平成 24 年 10 月に路面切削機を保有するミツワ建設工業株式会社の関連会社として設立し、主要事業として国道・県道・高速道路・空港における新道路の敷設工事や、傷んだ道路の舗装工事等を行っております。また、道路以外にも民間の構内の舗装、コンビニエンスストアの駐車場の舗装等の実績もあります。

営業エリアは千葉県、東京都で、得意先である道路舗装大手から仕事を受注し、そのほとんどが公共事業です。

建設業の人手不足、高齢化が言われている中、社会資本の整備に携わることにより、社会に貢献できる存在価値のある企業を目指しています。



### 自社の強み

仕事に必要な資格取得にかかる費用を全額会社で負担し、技術力の向上に力を入れています。また、仕事で使う古くなった車を新しくする等働きやすい職場作りをし、福利厚生、待遇面を良くしているので社員の定着率が高いです。その結果、全社で意思疎通を図ることができ、会社の方針を全ての社員が周知することにより、より安全で質の高い施工をすることができます。

また、路面切削機を保有する関連会社があることにより、舗装修繕工事を一貫して自社で施工できるため、効率よく施工することができるところが当社の強みです。



### 一押し商品

舗装工事において、振動プレートの底部にアスファルト混合物が付着するのを防ぐため、作業しながら軽油を塗布する必要があり、4 リットルのペットボトルに軽油を入れ、それを持って移動しなければなりません。

そこで、振動プレートを扱う作業者の負担を軽減するために、振動プレート前方で軽油を噴射する「ふんむくん」を開発しました。作業を楽にするだけでなく、ペットボトルが倒れて軽油がこぼれたり、軽油が出すぎて周りに飛び散って汚したりすることがなくなり、環境にも良い製品です。

まずは建設機械レンタル会社を通じて商品を提供してまいりたいと考えています。



### 知財総合支援窓口活用のポイント

#### 窓口活用のきっかけ

同社は、当窓口のホームページをご覧になり、「従業員が使用している振動プレートを改良したので発明相談をして欲しい」と来訪されました。

#### 最初の相談概要

同社は舗装工事において、従業員が振動プレートを使うにあたり、特に夏場の従業員の作業の負担を考え、「振動プレートに軽油噴射機能を付けたものを試作したので、特許出願できないか」とのご相談をいただきました。同社にとって初めての特許出願でしたので、知的財産制度の説明や J-PlatPat で先行技術の検索方法を説明しました。先行技術の特許文献との構造や効果との違いがあることがわかったことから、同社は特許出願する意向となりました。

#### その後の相談概要

前回の相談から半年程経過後、軽油噴射機能の試作品（のちの「ふんむくん」）が完成したと同社から連絡がありましたので、当窓口の専門家（弁理士）と共に試作品を見て支援策を検討するため同社を訪問しました。同専門家より、完成した試作品と先行特許文献との違いから発明のポイントを整理して今後の対策を立てました。

同社は、これらの支援を経て知的財産に関する理解を深められ、その後代理人を通じて特許出願し、権利化に至りました。

#### 窓口を活用して変わったところ

同社は、試作品製作会社の協力を得て何度も試作品を改良し使用試験をしています。従業員の作業の負担を軽くしたいという熱意が、試作品の完成度を高めたと思います。また、振動プレート等の機械や道具に対して創意工夫を重ね作業や業務を改善するとともに、知的財産を活用する意識が向上したと思います。

#### これから窓口を活用する企業へのメッセージ

新規に作成した製品を、どうしたら業界で広く認知され使用されるようになるかを相談に伺いました。最初から親身になって聞いて頂ける場所ならもっと早く言えば良かった、と思うくらい真剣に一緒に考えて頂けます。皆様も何かあれば、まず相談に行ってみてはどうでしょうか？

#### 窓口担当者から一言（氏名：窪田 芳雄）



同社は、特許出願した後に振動プレートのメーカーに軽油噴射機能を提案し、従来の振動プレートの付属品として軽油噴射機能を普及させたいということです。

同社だけでなく道路工事をしている全国の作業者の、特に夏場の過酷な作業の軽減に貢献して頂きたいと期待しております。

## 窓口支援事例 【千葉県 知財総合支援窓口】 平成 29 年度版

### 企業情報

株式会社 M・Strada

所在地	千葉県鎌ヶ谷市		
ホームページ URL	http://www.emusuto.co.jp		
設立年	2012 年	業 種	建設業
従業員数	26 人	資本金	500 万円

### 企業概要

当社は、平成 24 年 10 月に路面切削機を保有するミツワ建設工業株式会社の関連会社として設立し、主要事業として国道・県道・高速道路・空港における新道路の敷設工事や、傷んだ道路の舗装工事等を行っております。また、道路以外にも民間の構内の舗装、コンビニエンスストアの駐車場の舗装等の実績もあります。

営業エリアは千葉県、東京都で、得意先である道路舗装大手から仕事を受注し、そのほとんどが公共事業です。

建設業の人手不足、高齢化が言われている中、社会資本の整備に携わることにより、社会に貢献できる存在価値のある企業を目指しています。



### 自社の強み

仕事に必要な資格取得にかかる費用を全額会社で負担し、技術力の向上に力を入れています。また、仕事で使う古くなった車を新しくする等働きやすい職場作りをし、福利厚生、待遇面を良くしているので社員の定着率が高いです。その結果、全社で意思疎通を図ることができ、会社の方針を全ての社員が周知することにより、より安全で質の高い施工をすることができます。

また、路面切削機を保有する関連会社があることにより、舗装修繕工事を一貫して自社で施工できるため、効率よく施工することができるのが当社の強みです。



### 一押し商品

舗装工事において、振動プレートの底部にアスファルト混合物が付着するのを防ぐため、作業しながら軽油を塗布する必要があり、4 リットルのペットボトルに軽油を入れ、それを持って移動しなければなりません。

そこで、振動プレートを扱う作業者の負担を軽減するために、振動プレート前方で軽油を噴射する「ふんむくん」を開発しました。作業を楽にするだけでなく、ペットボトルが倒れて軽油がこぼれたり、軽油が出すぎて周りに飛び散って汚したりすることがなくなり、環境にも良い製品です。

まずは建設機械レンタル会社を通じて商品を提供してまいりたいと考えています。



### 知財総合支援窓口活用のポイント

#### 窓口活用のきっかけ

同社は、当窓口のホームページをご覧になり、「従業員が使用している振動プレートを改良したので発明相談をして欲しい」と来訪されました。

#### 最初の相談概要

同社は舗装工事において、従業員が振動プレートを使うにあたり、特に夏場の従業員の作業の負担を考え、「振動プレートに軽油噴射機能を付けたものを試作したので、特許出願できないか」とのご相談をいただきました。同社にとって初めての特許出願でしたので、知的財産制度の説明や J-PlatPat で先行技術の検索方法を説明しました。先行技術の特許文献との構造や効果との違いがあることがわかったことから、同社は特許出願する意向となりました。

#### その後の相談概要

前回の相談から半年程経過後、軽油噴射機能の試作品（のちの「ふんむくん」）が完成したと同社から連絡がありましたので、当窓口の専門家（弁理士）と共に試作品を見て支援策を検討するため同社を訪問しました。同専門家より、完成した試作品と先行特許文献との違いから発明のポイントを整理して今後の対策を立てました。

同社は、これらの支援を経て知的財産に関する理解を深められ、その後代理人を通じて特許出願し、権利化に至りました。

#### 窓口を活用して変わったところ

同社は、試作品製作会社の協力を得て何度も試作品を改良し使用試験をしています。従業員の作業の負担を軽くしたいという熱意が、試作品の完成度を高めたと思います。また、振動プレート等の機械や道具に対して創意工夫を重ね作業や業務を改善するとともに、知的財産を活用する意識が向上したと思います。

#### これから窓口を活用する企業へのメッセージ

新規に作成した製品を、どうしたら業界で広く認知され使用されるようになるかを相談に伺いました。最初から親身になって聞いて頂ける場所ならもっと早く言えば良かった、と思うくらい真剣に一緒に考えて頂けます。皆様も何かあれば、まず相談に行ってみてはどうでしょうか？

#### 窓口担当者から一言（氏名：窪田 芳雄）



同社は、特許出願した後に振動プレートのメーカーに軽油噴射機能を提案し、従来の振動プレートの付属品として軽油噴射機能を普及させたいということです。

同社だけでなく道路工事をしている全国の作業者の、特に夏場の過酷な作業の軽減に貢献して頂きたいと期待しております。